

# 野の花を愛する心 その原点は中津川に

こどものころ  
かれんな わすれな草の  
群落にあそんだ  
中津川



盛岡出身の女流画家深沢紅子。中津川のほとりに建つ、深沢紅子野の花美術館には水彩画40点のほか油絵などが常時展示され数多くの方々が訪れています。

野の花美術館の前、中津川を挟んで反対側の川岸にこの碑があります。紅子と言えば、野の花というように生涯、野の花を愛し描き続けました。

子どもの頃にわすれな草が咲きほこる中津川の川岸で遊んだ楽しい思い出が、野の花を愛する紅子の原点になったのかもしれませんが。

上の橋と下の橋の間、中津川の右岸には、紅子も含め盛岡ゆかりの詩人や歌人たちの詩歌碑10基が点在しています。

春まだ遠い盛岡ですが、暖かくなったら詩歌碑を探しながら中津川を散策してみたいいかがですか。

